

# 第1表 学校給食実施状況

## (1) 総括表

令和元年5月1日現在

区分		①小学校	②中学校	③義務教育学校	①②③計	④特別支援学校	①～④計
学校給食実施学校数(校)		778	374	2	1,154	39	1,193
在籍児童生徒数(人)		308,894	146,721	749	456,364	5,790	462,154
完全給食	学校数(校)	774	374	2	1,150	39	1,189
	実施児童生徒数(人)	306,589	145,304	748	452,641	5,258	457,899
	実施率(%)	99.3	99.0	99.9	99.2	90.8	99.1
調理方式別内訳	単独調理場(校)	397	133	1	531	36	567
	共同調理場(校)	377	239	1	617	3	620
	デリバリー方式(校)	0	2	0	2	0	2
	親子方式(校)	3	18	0	21	1	22

### (注)

- 1 実施児童生徒数は、5月1日現在、実際に給食を受けている人数である。  
(食物アレルギー等で給食を受けていない人数は含まない。)
- 2 四街道・仁戸名特別支援学校は、病院給食のため対象から除く。
- 3 流山高等学園・市川大野高等学園は、給食未実施校のため対象から除く。
- 4 親子方式校は、親校から給食を受けている子の学校数である。  
単独調理場の小・中学校数にも含まれている。
- 5 学校給食実施率は、実施児童生徒数を在籍児童生徒数で除したものである。
- 6 5月1日現在、調理場の改修のため完全給食を実施できない小学校が4校あった。

(2) 調理方式別完全給食実施状況

令和元年5月1日現在

	調理施設数	学校種	学校数 (うち子校数)
単独調理場	567 施設	小学校	397 校 ( 3 校)
		中学校	133 校 ( 18 校)
		義務教育学校	1 校
		公立特別支援学校	36 校 ( 1 校)
共同調理場	75 施設	小学校	377 校
		中学校	239 校
		義務教育学校	1 校
		公立特別支援学校	3 校
調理場数 計	642 施設	単独・共同学校数 計	1,187 校 ( 22 校)

その他の調理方式 (デリバリー方式)	県立中学校	2 校
	学校数 計	2 校

(注)

- 1 対象は、完全給食を実施している公立小・中学校・義務教育学校・特別支援学校である。
- 2 子校数とは、単独調理場の学校のうち、親子方式で親校から給食を受けている子校の学校数である。

(3) 調理方式別完全給食実施状況年次推移

令和元年5月1日現在

調理方式 学校種	単独調理場				共同調理場				合計			
	平成30年		令和元年		平成30年		令和元年		平成30年		令和元年	
	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%
小学校	397	50.5	397	51.3	389	49.5	377	48.7	786	100	774	100
中学校	134	35.7	133	35.8	241	64.3	239	64.2	375	100	372	100
義務教育学校	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	2	100	2	100
合計	532	45.7	531	46.3	631	54.3	617	53.7	1,163	100	1,148	100

(注)

- 1 対象は、公立小・中・義務教育学校完全給食実施校である。
- 2 県立千葉中学校、東葛飾中学校は、デリバリー方式のため除く。

## 第2表 米飯給食・パンが主食となる給食の実施状況

### (1) 米飯給食の学校数ベース総括表

令和元年5月1日現在

学校数		米飯給食実施状況							
		1回	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回
小学校	774	0	0	1	162	223	367	15	6
中学校	374	0	0	0	88	77	141	15	53
義務教育 学 校	2	0	0	0	0	0	2	0	0
公立特別 支援学校	39	0	0	0	8	11	16	3	1
合計	1,189	0	0	1	258	311	526	33	60
実施率		0%	0%	0.1%	21.7%	26.2%	44.2%	2.8%	5.0%

(注)

・実施率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならない。

### (2) 米飯給食の児童生徒数ベース総括表

令和元年5月1日現在

児童生徒数		米飯給食実施状況							
		1回	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回
小学校	306,589	0	0	1,203	76,017	98,378	125,718	3,852	1,421
中学校	145,304	0	0	0	36,864	29,484	47,945	4,535	26,476
義務教育 学 校	748	0	0	0	0	0	748	0	0
公立特別 支援学校	5,258	0	0	0	1,005	1,734	1,923	380	216
合計	457,899	0	0	1,203	113,886	129,596	176,334	8,767	28,113
実施率		0%	0%	0.3%	24.9%	28.3%	38.5%	1.9%	6.1%

(注)

・実施率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならない。

### (3) 米飯給食・パンが主食となる給食の週当たりの平均実施回数（児童生徒数ベース）

令和元年5月1日現在

- ①米飯給食の週当たり平均実施回数 **3.7 回**
- ②パンが主食となる給食の週当たり平均実施回数 **1.0 回**

### 第3表 学校給食費状況

(1) 総括表

令和元年5月1日現在

		平均月額 (円)			平均単価 (円)		
		29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
公立小・中学校	小学校	4,563	4,524	4,526	261	265	268
	前年度比 (%)	101.1	99.1	100.0	100.6	101.5	101.1
	中学校	5,308	5,294	5,356	314	315	322
	前年度比 (%)	101.2	99.7	101.2	102.9	100.3	102.2
公立特別支援学校	幼稚部	4,895	4,753	4,667	299	292	297
	前年度比 (%)	102.0	97.1	98.2	100.8	97.7	101.7
	小学部	5,302	5,286	5,261	312	308	311
	前年度比 (%)	101.3	99.7	99.5	101.8	98.7	101.0
	中学部	6,149	6,140	6,134	368	357	363
	前年度比 (%)	101.0	99.9	99.9	103.2	97.0	101.7
	高等部	5,900	6,019	6,100	361	354	363
前年度比 (%)	101.2	102.0	101.3	101.8	98.1	102.5	
夜間定時制高等学校		5,378			332		
前年度比 (%)		102.2			102.8		

(注)

- ・ 一食あたりの平均単価は、平均月額×11(ヶ月)÷年間予定回数(平均値)により算出している。

(2) 学校給食費 最低・最高月額

区分	最低月額 (円)	最高月額 (円)
小学校	3,900	5,424
中学校	4,612	6,570
特別支援学校(幼)	3,955	5,009
特別支援学校(小)	4,373	5,902
特別支援学校(中)	4,877	6,762
特別支援学校(高)	4,798	6,799

※市立特別支援学校は除く。

## 第4表 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

### (1) 総括表

令和元年5月1日現在

	年度	小学校	中学校	義務教育 学校	共同調理場	教育委 員会等	公立特別 支援学校	合計
県費	30	161	70	0	125	1	35	392
負担職員	元	167	66	0	120	1	35	389
市町村費	30	246	47	1	25	26	2	347
負担職員	元	235	51	1	36	18	3	344
計	30	407	117	1	150	27	37	739
	元	402	117	1	156	19	38	733

(注)

- 1 調査対象は、常勤の栄養教諭・学校栄養職員である。
- 2 小・中併設校勤務の者は、小学校に登録。
- 3 中学校には、県立千葉中学校、東葛飾中学校を含む。

### (2) 栄養教諭・学校栄養職員学校規模別配置状況（単独調理場）

令和元年5月1日現在

区分	児童生徒数	199人	200人	400人	600人	800人	1,000人	1,200人	1,400人	1,600人	合計
		以下	～ 399人	～ 599人	～ 799人	～ 999人	～ 1,199人	～ 1,399人	～ 1,599人	以上	
小学校	配置人員	57	96	112	94	32	8	3	0	0	402
	うち 栄養教諭	11	37	36	36	15	6	3	0	0	144
	学校数	55	98	111	94	31	8	3	1	0	401
中学校	配置人員	6	36	31	30	10	2	0	0	0	115
	うち 栄養教諭	2	13	13	13	3	1	0	0	0	45
	学校数	13	39	35	34	10	2	0	0	0	133
義務 教育 学校	配置人員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	うち 栄養教諭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学校数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(注)

- 1 栄養教諭・学校栄養職員数と学校数が一致しないのは、親子給食の実施により2校で1人の栄養教諭・学校栄養職員を配置している場合等があるためである。
- 2 小・中併設校勤務の者は小学校に登録。
- 3 県立千葉中学校、東葛飾中学校は、デリバリー方式のため除く。

### (3) 栄養教諭・学校栄養職員学校規模別配置状況（共同調理場）

令和元年5月1日現在

区分	児童・生徒数	501人	1,001人	1,501人	2,001人	2,501人	3,001人	4,001人	5,001人	7,001人	10,001人	合計
		500人以下	～ 1,000人	～ 1,500人	～ 2,000人	～ 2,500人	～ 3,000人	～ 4,000人	～ 5,000人	～ 7,000人	～ 10,000人	
配置人員	10	15	6	20	8	11	21	30	16	14	5	156
うち 栄養教諭	6	10	4	15	5	8	14	11	6	3	2	84
共同 調理場数	10	14	5	9	4	5	10	9	5	3	1	75

## 第5表 学校給食調理員配置状況

### (1) 総括表

令和元年5月1日現在

区 分	常 勤	非 常 勤	計	
小 学 校	配置人員	304	328	632
	うち調理師 免許取得者	194	65	259
中 学 校	配置人員	6	7	13
	うち調理師 免許取得者	6	3	9
義 務 教 育 校	配置人員	0	0	0
	うち調理師 免許取得者	0	0	0
特 別 支 援 校	配置人員	28	191	219
	うち調理師 免許取得者	22	92	114
共 同 調 理 場	配置人員	208	86	294
	うち調理師 免許取得者	70	19	89
計	配置人員	546	612	1,158
	うち調理師 免許取得者	292	179	471

### (2) 学校給食調理員規模別配置状況（単独調理場）

令和元年5月1日現在

区 分		児童・生徒数	101人	301人	501人	701人	901人	1,101人	1,301人	1,501人	合 計
		100人 以 下	300人	500人	700人	900人	1,100人	1,300人	1,500人	以 上	
小 学 校	配置人員	29	167	167	172	82	15	0	0	0	632
	学 校 数	18	87	106	108	56	15	7	0	0	397
中 学 校	配置人員	0	0	4	0	9	0	0	0	0	13
	学 校 数	3	28	40	34	24	2	2	0	0	133
義 務 教 育 校	配置人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学 校 数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
特 別 支 援 校	配置人員	50	169	0	0	0	0	0	0	0	219
	学 校 数	13	25	0	0	0	0	0	0	0	38

### (3) 学校給食調理員規模別配置状況（共同調理場）

令和元年5月1日現在

区 分	児童・生徒数	501人	1,001人	1,501人	2,001人	2,501人	3,001人	4,001人	5,001人	7,001人	10,001人	合 計
	500人 以 下	1,000人	1,500人	2,000人	2,500人	3,000人	4,000人	5,000人	7,000人	10,000人	以 上	
配 置 人 員	21	35	0	39	16	20	26	57	28	0	52	294
共 同 調 理 場 数	10	14	5	9	4	5	10	9	4	4	1	75

(注)

- 1 委託調理員は含まない。
- 2 親子給食の場合は、「学校数」欄においては、それぞれを1校として記入し、「配置人員」欄においては、親校の欄に記入している。
- 3 デリバリー方式実施校は含まない。
- 4 小・中併設校勤務の者は、小学校に登録。
- 5 県立習志野特別支援学校・県立飯高特別支援学校については、このデータのみ単独調理場に登録。

## 第6表 調理場業務状況

### (1) 学校給食外部委託状況

令和元年5月1日現在

区分	単独調理場			共同調理場	
	小学校数	中学校数	義務教育学校数	調理場数	小・中・義務教育学校数
調理	280	126	1	64	534
運搬	28	18	0	71	595
物資購入管理	0	0	0	2	24
食器洗浄	274	125	1	59	524
ボイラー管理	3	1	0	49	482
その他の業務	146	22	0	48	449

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している公立小・中・義務教育学校である。
- 2 炊飯の委託は除く。
- 3 デリバリー方式実施校は含まない。
- 4 「その他の業務」には、配膳業務、施設の清掃・点検等が挙げられている。

### (2) 残渣の再利用（リサイクル）状況

令和元年5月1日現在

		再利用（リサイクル）状況						
		していない	している	再利用の種類				
				堆肥化	飼料化	養豚業者	発電	その他
単独調理場	小・中学校義務教育学校（531校）	284	247	104	36	0	0	107
	特別支援学校（36校）	33	3	1	0	0	0	2
共同調理場	施設数（75場）	35	40	17	16	4	6	1
デリバリー方式（2校）		2	0	0	0	0	0	0

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施する公立小・中・義務教育学校・特別支援学校である。  
(共同調理場から配食している学校は含めない)
- 2 重複回答である。
- 3 「その他」には、バイオディーゼルの原料等が挙げられている。

(3) 食物アレルギーへの対応

令和元年5月1日現在

			①詳細な献立表 対応	②弁当対応	③除去食対応	④代替食対応
義 公 務 立 教 小 育 小 学 中 校 中 校	単独調理場 (533校)	学校数	357	402	301	24
		割合 (%)	67.0	75.4	56.5	4.5
	共同調理場 (75場)	調理場数	72	59	21	3
		割合 (%)	96.0	78.7	28.0	4.0
公立特別支援学校数 (39校)		学校数	28	25	32	5
		割合 (%)	71.8	64.1	82.1	12.8

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施する公立小・中・義務教育学校・特別支援学校・共同調理場である。
- 2 重複回答のため、必ずしも100%にはなっていない。
- 3 「詳細な献立表」とは、判断できるような原材料を示し保護者・担任の指示、本人の判断で除外している場合。
- 4 「弁当対応」とは、対応が困難な場合に一部もしくは全部、弁当持参で対応している場合。
- 5 「除去食対応」とは、申請のあった原因物質を除いた給食を提供している場合。
- 6 「代替食対応」とは、除去食で失われた栄養価を別の食品で補う給食を提供している場合。
- 7 デリバリー方式実施校を含む。(本票では千葉中学校、東葛飾中学校は単独調理場に含める)

## 第7表 食器の使用状況

食器の材質別使用割合

令和元年5月1日現在

区 分	小学校数 (774校)	割合 (%)	中学校数 (374校)	割合 (%)	義務教育 学校数 (2校)	割合 (%)	特別支援 学校数 (39校)	割合 (%)
ポリプロピレン	289	37.3	145	38.8	1	50	8	20.5
P E N樹脂	382	49.4	131	35.0	0	0	16	41.0
強化磁器	229	29.6	121	32.4	1	50	8	20.5
メラミン	20	2.6	2	1	0	0	34	87.2
A B S樹脂	26	3.4	16	4.3	0	0	0	0
ステンレス	8	1.0	7	1.9	0	0	2	5.1
アルマイト	5	0.6	0	0	0	0	0	0
陶磁器	4	0.5	1	0	0	0	1	2.6
ポリエチレン	0	0	0	0	0	0	0	0
ポリカーボネート	0	0	0	0	0	0	2	5.1
木	0	0	0	0	0	0	0	0
強化耐熱ガラス	0	0	0	0	0	0	0	0
複合	0	0	0	0	0	0	0	0
ダブレン樹脂	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	0.5	0	0	0	0	2	5.1

(注)

- 1 重複回答のため、割合の合計は100%にはならない。
- 2 盆は含まず、パレット皿を含めて調査をしている。
- 3 強化耐熱ガラスには、コレールを含む。
- 4 その他は、ペット樹脂等である。

## 第8表 朝食欠食状況

### (1) 公立小中学校の割合

	学年	必ず毎日食べる	1週間に1～3日食べないことがある	1週間に4～5日食べないことがある	ほとんど食べない
小学校	小1年	91.1%	6.9%	1.1%	0.9%
	小2年	90.8%	6.8%	1.2%	1.2%
	小3年	90.5%	7.2%	1.1%	1.2%
	小4年	90.1%	7.3%	1.2%	1.4%
	小5年	88.1%	8.9%	1.5%	1.5%
	小6年	87.3%	9.2%	1.6%	1.9%
	小計	89.6%	7.7%	1.3%	1.4%
中学校	中1年	85.7%	9.9%	2.1%	2.3%
	中2年	83.9%	10.7%	2.4%	3.0%
	中3年	83.0%	11.0%	2.6%	3.4%
	小計	84.2%	10.5%	2.4%	2.9%
合計	88.0%	8.6%	1.6%	1.8%	

### (2) 公立特別支援学校の割合

	学年	必ず毎日食べる	1週間に1～3日食べないことがある	1週間に4～5日食べないことがある	ほとんど食べない
小学部	小1年	92.8%	5.4%	0.9%	0.9%
	小2年	89.9%	7.9%	0.9%	1.3%
	小3年	88.6%	8.4%	0.9%	2.1%
	小4年	91.0%	5.6%	0.9%	2.5%
	小5年	91.6%	4.4%	1.8%	2.2%
	小6年	88.0%	8.4%	0.8%	2.8%
	小計	90.4%	6.7%	1.0%	1.9%
中学部	中1年	90.9%	6.0%	0.7%	2.4%
	中2年	87.4%	7.4%	1.8%	3.4%
	中3年	89.6%	6.9%	0.6%	2.9%
	小計	89.4%	6.7%	1.0%	2.9%
合計	90.0%	6.7%	1.0%	2.3%	

(注) 調査は、令和元年度に各学校が調査した日現在である。

## 第9表 食に関する指導について

### (1) 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」の活用状況の割合

対象学校	①授業で1度でも活用した学校	②授業以外で1度でも活用した学校	③課題や宿題として1度でも活用した学校
小学校	37.7%	22.2%	6.8%
公立特別支援学校 (小学部)	12.1%	12.1%	0%
合計	36.6%	21.8%	6.5%

### (2) 食に関する授業の実施状況の割合

内容 校種	①担任だけで授業を実施した学校	②担任と栄養教諭又は学校栄養職員のTTで授業を実施した学校	③学校栄養職員が特別非常勤講師として授業を実施した学校	④地域の食の専門家の協力を得て授業を実施した学校	⑤地場産物の食材を活用した授業を実施した学校	⑥地域の伝統料理や行事料理を活用した授業を実施した学校	⑦生活科・家庭科以外で体験活動を伴う授業を実施した学校	⑧保護者が参加した食に関する指導の授業を実施した学校
小学校	64.8%	77.1%	21.6%	34.4%	63.5%	38.3%	70.4%	34.1%
中学校	44.7%	38.5%	11.2%	10.7%	47.6%	39.8%	30.7%	7.2%
義務教育学校	0%	100%	0%	0%	50.0%	50.0%	0%	50%
公立特別支援学校	66.7%	66.7%	5.1%	5.1%	38.5%	35.9%	61.5%	15.4%
合計	58.4%	64.7%	17.8%	26.0%	57.7%	38.7%	57.6%	25.1%

### (3) 食に関する指導推進のための体制作り状況の割合

	①食に関する指導全体計画を作成してある学校	②食に関する指導年間計画を作成してある学校	③近隣の学校や地域の保健センター、公民館等との食に関する連絡協議会等がある学校
小学校	97.9%	91.1%	27.1%
中学校	94.7%	84.8%	27.0%
義務教育学校	50.0%	100%	0%
公立特別支援学校	94.9%	89.7%	10.3%
合計	96.7%	89.1%	26.5%

(注)

- 1 平成30年度の活用状況である。
- 2 重複回答可である。
- 3 授業以外とは「給食時の指導」「保護者会」等での活用のことである。
- 4 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」は、県教育委員会HPに掲載している。
- 5 地域の食の専門家とは、生産者、調理師、栄養士等である。
- 6 体験活動とは、農作物の栽培、食品の加工・調理等をさしている。

## 第10表 学校農園等の設置状況

### (1) 校内設置の割合

令和元年5月1日現在

	畑			水田		
	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上
小学校	45.5%	15.3%	5.4%	11.8%	0.9%	0.3%
中学校	30.5%	6.1%	1.1%	1.3%	0%	0.3%
義務教育学校	50.0%	0%	0%	0%	0%	0%
公立特別支援学校	17.9%	10.3%	25.6%	0%	0%	0%
合計	39.9%	12.2%	4.7%	8.1%	0.6%	0.3%

### (2) 校外設置の割合

令和元年5月1日現在

	畑			水田		
	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上
小学校	5.3%	3.3%	4.8%	2.3%	1.8%	4.5%
中学校	2.9%	1.3%	0.5%	1.1%	0%	0.3%
義務教育学校	0%	0%	0%	0%	0%	0%
公立特別支援学校	2.6%	10.3%	23.1%	2.6%	0%	2.6%
合計	4.4%	2.9%	4.0%	1.9%	1.2%	3.1%

(注)

- 1 重複回答可である。
- 2 バケツ稲は除く。
- 3 借り上げている場合も含む。